



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成31年2月8日

上場会社名 株式会社ランドコンピュータ
 コード番号 3924 URL <https://www.rand.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福島 嘉章
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理統括部長 (氏名) 奥野 文俊
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5232-3046

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	5,550	9.9	307	64.5	307	56.0	201	48.4
30年3月期第3四半期	5,048	1.8	187	0.0	197	3.0	135	9.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	33.66	
30年3月期第3四半期	22.68	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	4,512	3,072	68.1	513.40
30年3月期	4,509	2,975	66.0	497.20

(参考)自己資本 31年3月期第3四半期 3,072百万円 30年3月期 2,975百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		9.00		9.00	18.00
31年3月期		9.00			
31年3月期(予想)				10.00	19.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成31年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 9円00銭 記念配当 1円00銭 (東証一部指定記念配当)
 配当予想の修正につきましては、本日(平成31年2月8日)公表いたしました「配当予想の修正(東証一部指定記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成31年3月期の業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,809	7.4	475	9.8	472	6.5	305	3.3	50.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期3Q	5,985,000 株	30年3月期	5,985,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

31年3月期3Q	213 株	30年3月期	213 株
----------	-------	--------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期3Q	5,984,787 株	30年3月期3Q	5,984,787 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理性であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益、設備投資、雇用・所得環境の改善等により緩やかな回復基調が続いていますが、大国間の貿易摩擦の懸念など海外経済の不確実性、中東・東アジア地域における地政学的リスク、金融資本市場の変動など、海外動向に対する警戒感により先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社が属する情報サービス業界においては、引き続きクラウド、I o T（Internet of Things）、フィンテック（金融サービスのITイノベーション）、ビッグデータ、AI（人工知能）、RPA（ロボットによる業務自動化）などの技術革新の進展、金融や流通分野を中心とした制度対応に伴うシステム更新、「働き方改革」の実現を含む人手不足に対する自動化、省力化、生産性向上に向けたIT活用意識の高まりを背景とした企業の将来を見据えた戦略的IT投資の増加等により、引き続き堅調に推移しております。しかし、パートナー企業を含む開発要員の不足及び高コスト化等でさらに厳しい収益環境が続いております。

このような環境のもと当社では、引き続き既存顧客とのパートナーシップの強化による領域の拡大及び顧客満足度の向上に努め、継続的な受注確保・拡大を図るとともに、パッケージベースSI・サービスを中心とした新規顧客の開拓に注力し、さらに開発要員の採用強化及びパートナー企業との更なる連携強化に努めてまいりました。

また、引き続き不採算プロジェクト再発防止に向けたプロジェクト管理の強化に真摯に努めるとともに、今後の成長に向けた強固な土台作りを推進してまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は5,550,396千円（前年同四半期比109.9%）と、全サービスラインが前年同期比で増加いたしました。損益面につきましては、流通分野で発生した不採算プロジェクトの収束に向けた人員補強を行いました。その他のプロジェクトは概ね順調に推移したことにより、営業利益は307,853千円（前年同四半期比164.5%）、経常利益307,924千円（前年同四半期比156.0%）、四半期純利益は201,470千円（前年同四半期比148.4%）となりました。

当社事業のサービスライン別の業績を示すと、次のとおりであります。

事業のサービスライン	売上高（千円）	前年同期比（%）
システムインテグレーション・サービス	3,841,980	106.4
インフラソリューション・サービス	813,595	118.3
パッケージベースSI・サービス	894,820	119.4
合計	5,550,396	109.9

（システムインテグレーション・サービス）

流通分野で発生した不採算プロジェクトの対応により売上高が減少しましたが、金融分野におけるネットバンク案件及び流通系銀行案件の受注増加、公共分野での新規案件参画による受注増加、通信業向けシステム再構築案件の受注増加、自動車関連事業向けシステム開発案件への新規参画による受注増加等により、売上高は3,841,980千円（前年同四半期比106.4%）となりました。

内訳を業種別に示すと、次のとおりであります。

業種別	売上高（千円）	前年同期比（%）
金融	1,657,419	103.0
（うち銀行）	1,029,040	109.8
（うち保険・証券）	160,846	77.4
（うちクレジットカード）	467,533	100.9
産業・流通	1,640,014	105.7
公共	126,584	213.1
医療	417,961	106.8
合計	3,841,980	106.4

（インフラソリューション・サービス）

証券・クレジットカード分野及び公共・教育機関向けネットワーク構築案件及び基盤構築案件の受注が引き続き堅調に推移したことにより、売上高は813,595千円（前年同四半期比118.3%）となりました。

（パッケージベースS I・サービス）

当社におけるクラウドコンピューティングサービスの中心であるSalesforce関連の受注が引き続き堅調に推移したことにより、売上高は894,820千円（前年同四半期比119.4%）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期会計期間末における総資産は4,512,847千円となり、前事業年度末と比較して3,071千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が492,029千円増加、システム開発の進捗により仕掛品が173,912千円増加、差入保証金が10,485千円増加、未収還付法人税等が17,030千円増加し、一方で、売上債権が623,833千円減少、有形固定資産及び無形固定資産が19,796千円減少、繰延税金資産が51,123千円減少したことによるものであります。

（負債）

当第3四半期会計期間末における負債合計は1,440,254千円となり、前事業年度末と比較して93,880千円の減少となりました。これは主に、買掛金が10,941千円増加、短期借入金が100,000千円増加、未払費用が26,699千円増加、預り金が48,320千円増加、受注損失引当金が10,987千円増加し、一方で、納税により未払法人税等及び未払消費税等が130,320千円減少、賞与、役員賞与の支給等により賞与引当金及び役員賞与引当金が154,533千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産合計は3,072,592千円となり、前事業年度末と比較して96,952千円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が93,744千円増加及びその他有価証券評価差額金が3,208千円増加したことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成30年5月9日に「平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,733,678	2,225,708
受取手形及び売掛金	1,937,651	1,313,817
有価証券	200,000	200,000
仕掛品	73,660	247,573
前払費用	50,147	50,455
未収還付法人税等	—	17,030
その他	3,154	1,946
流動資産合計	3,998,293	4,056,532
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	67,239	60,462
工具、器具及び備品（純額）	28,786	25,386
有形固定資産合計	96,026	85,848
無形固定資産		
ソフトウェア	25,808	16,751
商標権	6,237	5,675
無形固定資産合計	32,045	22,426
投資その他の資産		
投資有価証券	72,316	77,734
差入保証金	67,673	78,158
ゴルフ会員権	3,600	3,600
繰延税金資産	241,420	190,296
貸倒引当金	△1,600	△1,750
投資その他の資産合計	383,410	348,039
固定資産合計	511,482	456,315
資産合計	4,509,775	4,512,847

(単位:千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	299,025	309,967
短期借入金	—	100,000
未払金	31,568	37,479
未払費用	114,022	140,721
未払法人税等	116,054	—
未払消費税等	58,267	44,001
前受金	30,453	28,205
預り金	64,856	113,176
賞与引当金	322,556	174,622
役員賞与引当金	22,700	16,100
株主優待引当金	7,676	—
受注損失引当金	800	11,787
流動負債合計	1,067,980	976,061
固定負債		
長期未払金	100,000	100,000
退職給付引当金	366,154	364,193
固定負債合計	466,154	464,193
負債合計	1,534,135	1,440,254
純資産の部		
株主資本		
資本金	457,304	457,304
資本剰余金	313,574	313,574
利益剰余金	2,179,779	2,273,523
自己株式	△195	△195
株主資本合計	2,950,463	3,044,207
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	25,176	28,385
評価・換算差額等合計	25,176	28,385
純資産合計	2,975,640	3,072,592
負債純資産合計	4,509,775	4,512,847

（2）四半期損益計算書
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自平成30年4月1日 至平成30年12月31日）
売上高	5,048,513	5,550,396
売上原価	4,296,142	4,615,993
売上総利益	752,371	934,402
販売費及び一般管理費	565,231	626,548
営業利益	187,139	307,853
営業外収益		
受取利息	83	62
受取配当金	1,078	1,447
業務受託料	4,100	5,500
助成金収入	4,741	6,830
その他	754	536
営業外収益合計	10,758	14,376
営業外費用		
支払利息	463	469
貸倒引当金繰入額	50	150
固定資産除却損	2	—
一部指定関連費用	—	13,685
営業外費用合計	515	14,304
経常利益	197,382	307,924
特別利益		
退職給付制度改定益	11,725	—
特別利益合計	11,725	—
税引前四半期純利益	209,107	307,924
法人税、住民税及び事業税	22,583	55,330
法人税等調整額	50,789	51,123
法人税等合計	73,373	106,454
四半期純利益	135,734	201,470

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社の事業は、システムソリューションサービス及びこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。